

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.189)

三河港湾事務所だより

2023年5月号

三河港 地区紹介その1

三河港は、三河湾の東側湾奥部に位置し、港湾区域として周囲約80km、水域面積約132km²（全国8位）を有する港です。日本のほぼ中央に位置することから、全国に向けた物流の結節点として優れており、中部地域の基盤を成す産業である自動車を中心とした「ものづくり」を支える物流拠点となっています。

今回は「ものづくりの中部」を支える三河港の神野地区、明海地区、田原地区について紹介します。



愛知県提供

神野地区

三河港の物流の中心となる地区で東地区では完成自動車の国内への積み出しをはじめ、鉄スクラップや鋼材など多く取り扱われています。西地区では、完成自動車の輸出・輸入の拠点となっており、多くの自動車メーカーが利用しています。また、コンテナターミナルが整備されており、三河港と韓国を結ぶ外貿定期航路が開設されています。



神野地区で輸入された外国車

明海地区

かつて豊橋海軍航空基地であった大崎島の外周を埋め立て造成されました。

現在は三河港臨海部の中枢をなす産業基地となっています。自動車関連企業をはじめとする住宅、化学、食品、物流関連など多業種が集積しており、活発な経済活動が行われています。また、明海地区には造船所も立地しています。



明海地区にある造船所

田原地区

三河港の中で大規模な生産ゾーンとして位置づけられており、トヨタ自動車田原工場をはじめとした多くの企業が立地し、今後も生産流通の拠点として期待される地区です。

この地区では、令和5年度より取扱貨物の増加に伴う大型船に対応するため、岸壁の増深改良(-10m)が行われます。さらに耐震強化岸壁とすることで災害対応力向上を図ります。



愛知県提供

上空から見た田原地区

三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>
三河港湾事務所公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



みかわこうわん

三河港湾

検索



国土交通省 中部地方整備局
三河港湾事務所

公式Facebookページ



【クレーン付台船】

クレーン付台船は、台船の上にクローラクレーン（キャタピラで移動するクレーン）を乗せた作業船です。港湾工事では石材やテトラポットなど比較的小型軽量物の吊り上げ、据え付けに使用しています。

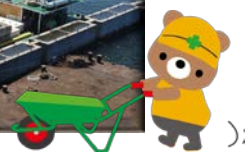
衣浦港の「防波堤撤去工事」では防波堤の本体となるケーソンと呼ばれるコンクリートの箱を撤去するほか、防波堤の基礎マウンドの石材も撤去しています。

起重機船※に比べるとクレーン付台船は小さく、重量物を吊り上げることはできませんが、小回りが利き、軽量物の吊り上げができることから、港湾工事をすすめる上で大事な役割を担っています。

※起重機船：重量物を吊り上げて航行(移動)させる用途に特化した作業船。ミニワン2023年2月号で掲載。



神野建設提供



クレーン付台船を使用したケーソン据え付け工事の様子

Coffee break

『半田運河の鯉のぼり』を見てきました

例年4月上旬～5月上旬、半田運河に吊るされる鯉のぼりを見てきました！

空を優雅に泳ぐ鯉のぼりの姿は、鮮やかで爽やかで、まるで本当に運河を泳いでいるようでした。運河周辺には、撮影スポットや歴史の深い建築もあり、見所がたくさんありました。

弘化元年（1844年）創業の中枳（なかの）酒造の酒蔵を再生した「國盛・酒の文化館」、明治22年（1889年）築の旧中枳半六邸と半六庭園、日本唯一の酢の博物館である「MIZKAN MUSEUM（ミツカンミュージアム）」などが立ち並び、醸造業で栄えた往時を偲ぶことができます。

きれいな町並みを歩くのは、とても気持ちがよく、また訪れてみたい場所でした。



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>